

2026 年 遠賀町・岡垣町・水巻町 合同会社説明会

参加者アンケート集計報告

本資料は、2026 年遠賀町・岡垣町・水巻町合同会社説明会の参加者アンケート結果を、設問ごとのグラフとコメントにより整理したものです。回答者は最大 130 名で、設問により未回答があるため回答数は異なります。集計ファイルで確認できる設問 3～11 を対象としています。

1. 集計概要

回答者数	最大 130 名（設問により 127～130 件等）
所属	社会人 74 件（58.3%）が最多
年齢	50 歳以上 69 件（53.1%）
居住地	開催 3 町（岡垣・遠賀・水巻） 48 件／128 件（37.5%）
希望職種	製造業 56 件、サービス業 55 件が突出
来場予定交通手段	車 104 件（81.3%）
認知経路	「チラシ」 32 件（25.2%）が単一項目で最多
就職先選びで重視	仕事内容 95 件（73.1%）、勤務地 76 件（58.5%）

主なポイント

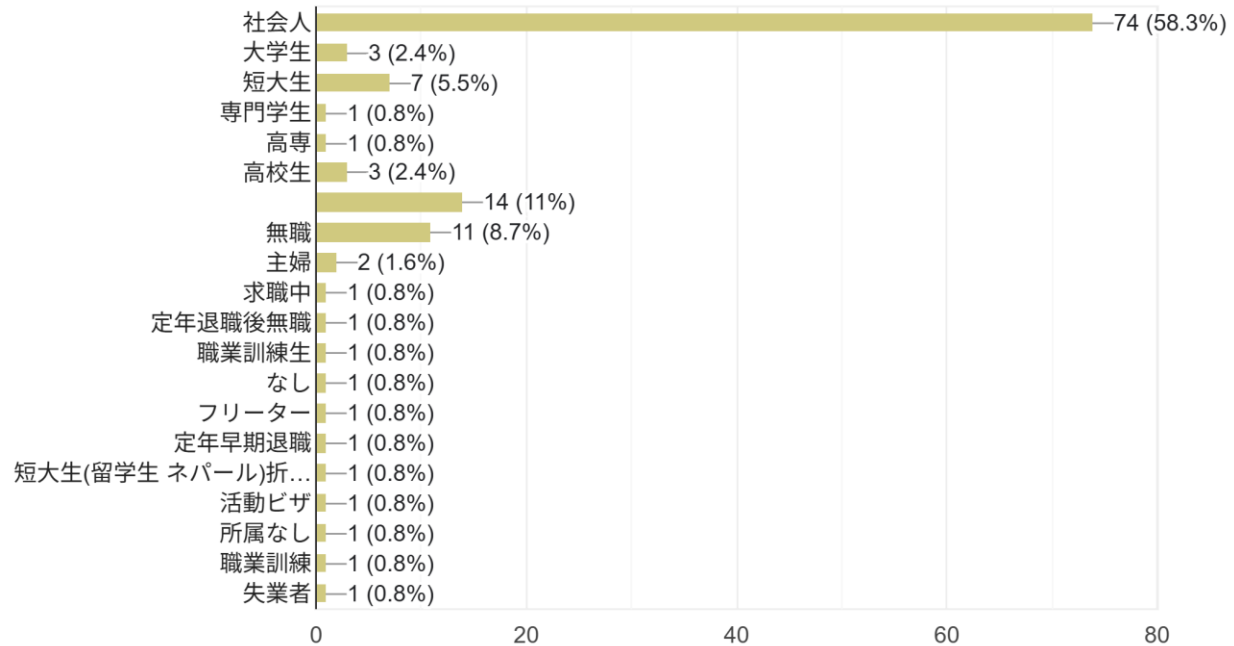
- 参加者は社会人が中心ですが、学生、無職・求職中、主婦など幅広い層が参加しており、年齢も 20 代以下から 60 歳以上まで広がっています。特に 50 歳以上が過半数を占め、ミドル・シニア層の就業ニーズが強く表れています。
- 希望職種は製造業とサービス業が突出し、就職先選びでは「仕事内容」「勤務地」に続き、休日・労働時間・給与・職場の雰囲気が重視されています。企業側には求人票だけでは分かりにくい具体的な仕事内容や働き方を説明することが求められます。
- 来場交通手段は車が 81.3%と圧倒的に多く、地域型説明会では駐車環境が重要です。一方、学生や車を持たない層への配慮として公共交通でのアクセス案内も必要です。
- 認知経路はチラシやハローワーク関連が強く、SNS 経由は少数でした。現状の集客では紙媒体・ハローワークとの連携が有効である一方、若年層等への接触拡大にはデジタル広報の改善余地があります。

2. 設問別集計・コメント

設問③ 現在のご所属について当てはまるものをお選びください

3 現在のご所属について当てはまるものをお選びください。

127 件の回答

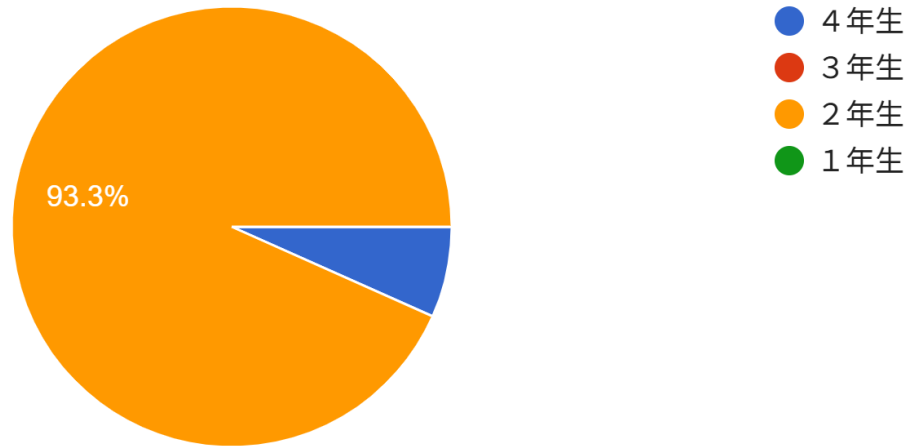


【コメント】 127 件の回答では、「社会人」が 74 件（58.3%）で最も多く、参加者の中心は在職者でした。一方、学生は大学生 3 件、短大生 7 件、専門学生 1 件、高専 1 件、高校生 3 件の計 15 件で、無職 11 件、主婦 2 件のほか、求職中・職業訓練中・定年後など多様な立場から参加しています。転職希望者だけでなく、新卒・再就職・シニア・職業訓練受講者など幅広い層を想定した求人情報や説明が必要です。

設問③-1 学生の方：学年について

3-1 学生の方（社会人以外の方は、以下にもお答えください）

15 件の回答

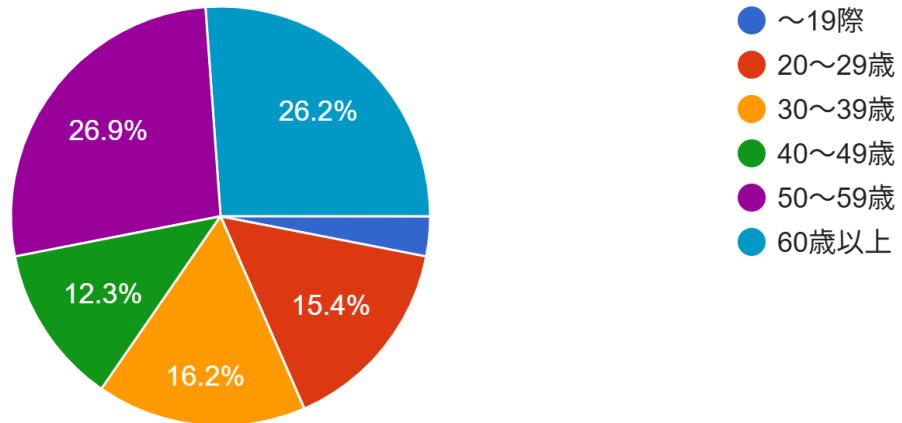


【コメント】 学生からの回答 15 件では、2 年生が 14 件（93.3%）、4 年生が 1 件（6.7%）でした。短大生を含む 2 年生の参加が中心であり、卒業・就職を意識する時期の学生が地域企業を知る機会として利用していることがうかがえます。学校への周知時期を早め、就職活動開始前から企業情報を届けることで、より計画的な企業研究につなげられると考えられます。

設問④ ご年齢について、該当するものをお選びください

4 ご年齢について、以下の選択肢から該当するものをお選びください。

130 件の回答

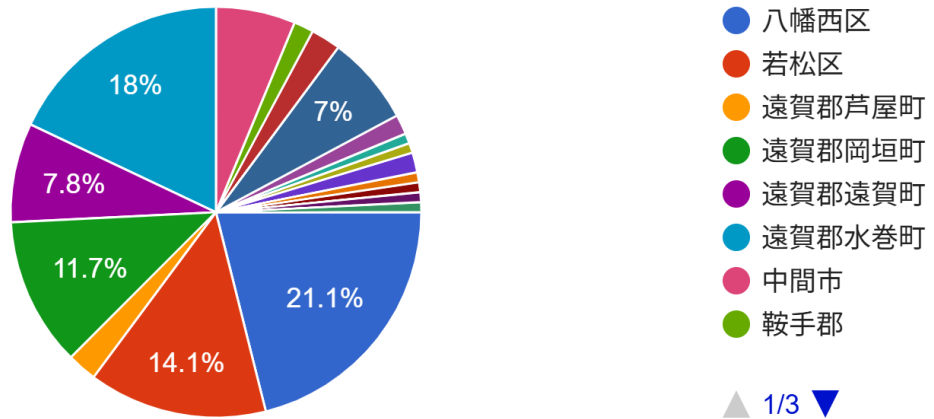


【コメント】130 件の回答では、50～59 歳が 35 件（26.9%）、60 歳以上が 34 件（26.2%）で、50 歳以上が合計 69 件（53.1%）と過半数を占めました。一方、20～29 歳 20 件（15.4%）、30～39 歳 21 件（16.2%）、40～49 歳 16 件（12.3%）、19 歳以下 4 件（3.1%）と幅広い年代が参加しています。企業側は年齢条件を明確にするとともに、未経験者・シニア層の採用可否や教育体制、長く働ける仕事内容を具体的に示すことが有効です。

設問⑤ お住まいの地域をお選びください

5 差し支えなければ、お住まいの地域を以下からお選びください。

128 件の回答

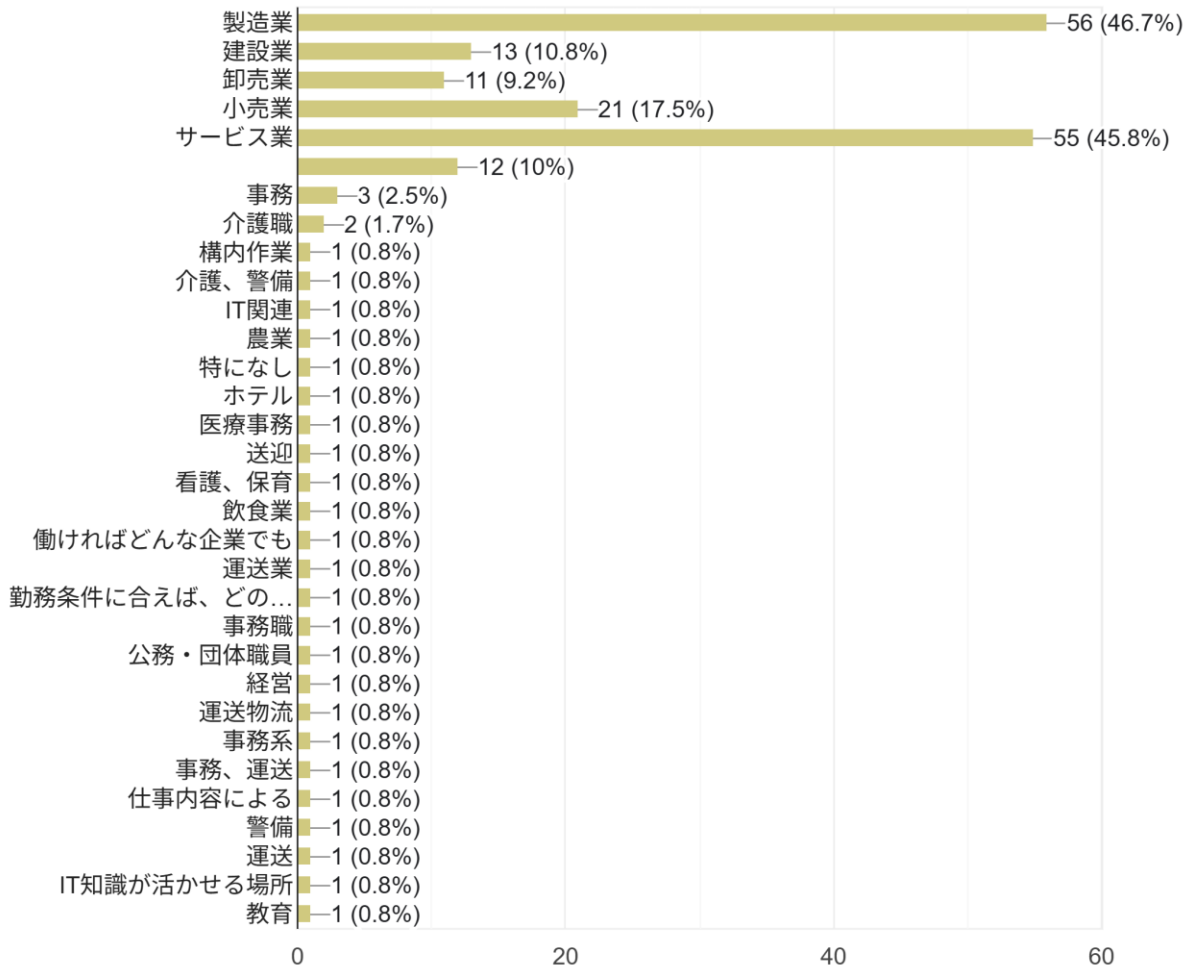


【コメント】128 件の回答では、八幡西区が 27 件（21.1%）で最も多く、水巻町 23 件（18.0%）、若松区 18 件（14.1%）、岡垣町 15 件（11.7%）、遠賀町 10 件（7.8%）と続きました。開催 3 町（岡垣町・遠賀町・水巻町）の合計は 48 件（37.5%）である一方、北九州市をはじめ周辺地域からの参加も多く、説明会が町内だけでなく広域の求職者を呼び込んでいることが分かります。今後も周辺自治体・ハローワーク等への広域周知を継続する価値があります。

設問⑥ ご希望される職種を教えてください

6 ご希望される職種を教えてください。該当するものを選択してください。

120 件の回答

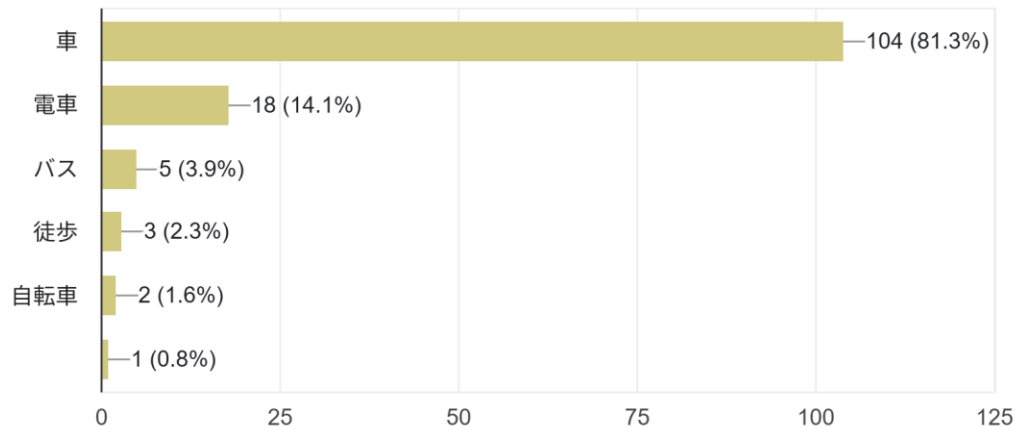


【コメント】120 件の回答では、製造業 56 件（46.7%）とサービス業 55 件（45.8%）が突出しており、小売業 21 件（17.5%）、建設業 13 件（10.8%）、卸売業 11 件（9.2%）が続きました。自由記述では事務、介護、IT、農業、運送、医療事務など多様な希望も見られます。製造・サービスの参加企業を充実させることに加え、事務職や福祉・運輸等の求人も一定数用意することで、より幅広い求職者のニーズに対応できます。

設問⑦ 当日のご来場予定の交通手段をお選びください

7 当日のご来場予定の交通手段を以下からお選びください。

128 件の回答

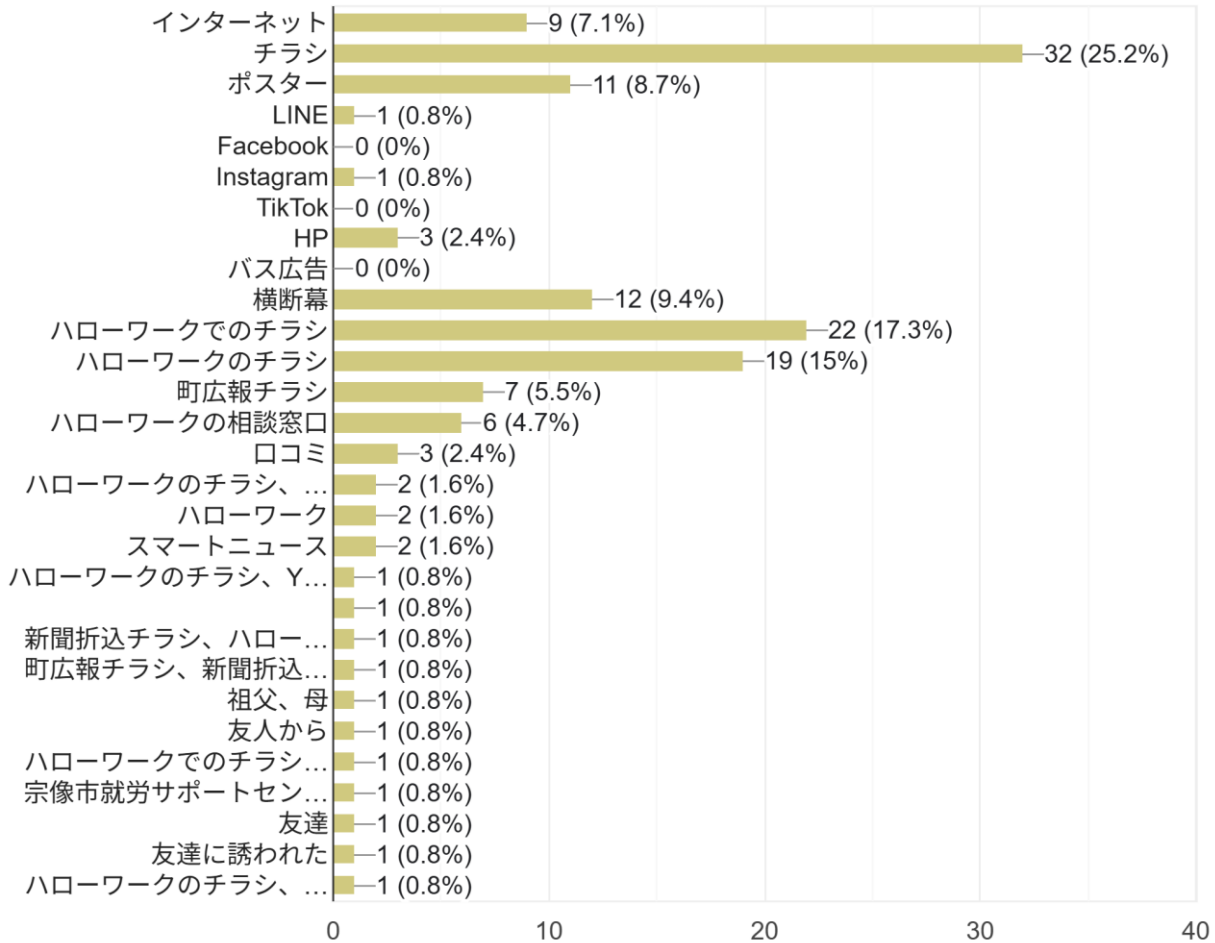


【コメント】128 件の回答では、車が 104 件（81.3%）と圧倒的に多く、電車 18 件（14.1%）、バス 5 件（3.9%）、徒歩 3 件（2.3%）、自転車 2 件（1.6%）でした。地域で開催する合同会社説明会では、駐車台数・誘導・入口案内など車での来場環境が参加のしやすさに直結します。一方で、学生や車を利用できない参加者もいるため、最寄駅からのアクセスや公共交通の時刻・徒歩経路を事前に分かりやすく案内することも重要です。

設問⑧ 今回の合同会社説明会をどのようにしてお知りになりましたか

8 今回の合同会社説明会をどのようにしてお知りになりましたか？（複数回答可）

127 件の回答

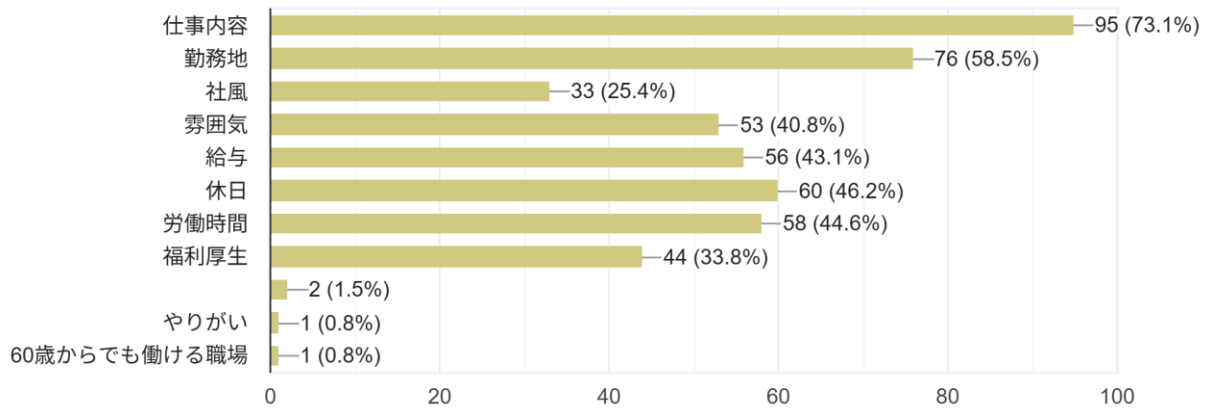


【コメント】127 件の回答（複数回答可）では、単一項目として「チラシ」が 32 件（25.2%）で最多でした。また、ハローワーク関連のチラシ・案内が 22 件、19 件、相談窓口 6 件など複数項目で多く、ハローワークを通じた周知の効果が大きいことが分かります。横断幕 12 件（9.4%）、ポスター 11 件（8.7%）、インターネット 9 件（7.1%）も一定の効果がある一方、LINE・Instagram は各 1 件、Facebook・TikTok は 0 件でした。現状は紙媒体と関係機関ルートが集客の中心であり、SNS は媒体・配信対象・内容の見直し余地があります。

設問⑨ 就職先を選ぶ際に重視することは何ですか

9 あなたが就職先を選ぶ際に、重視することは何...か？以下から選択してください。（複数回答可）

130 件の回答

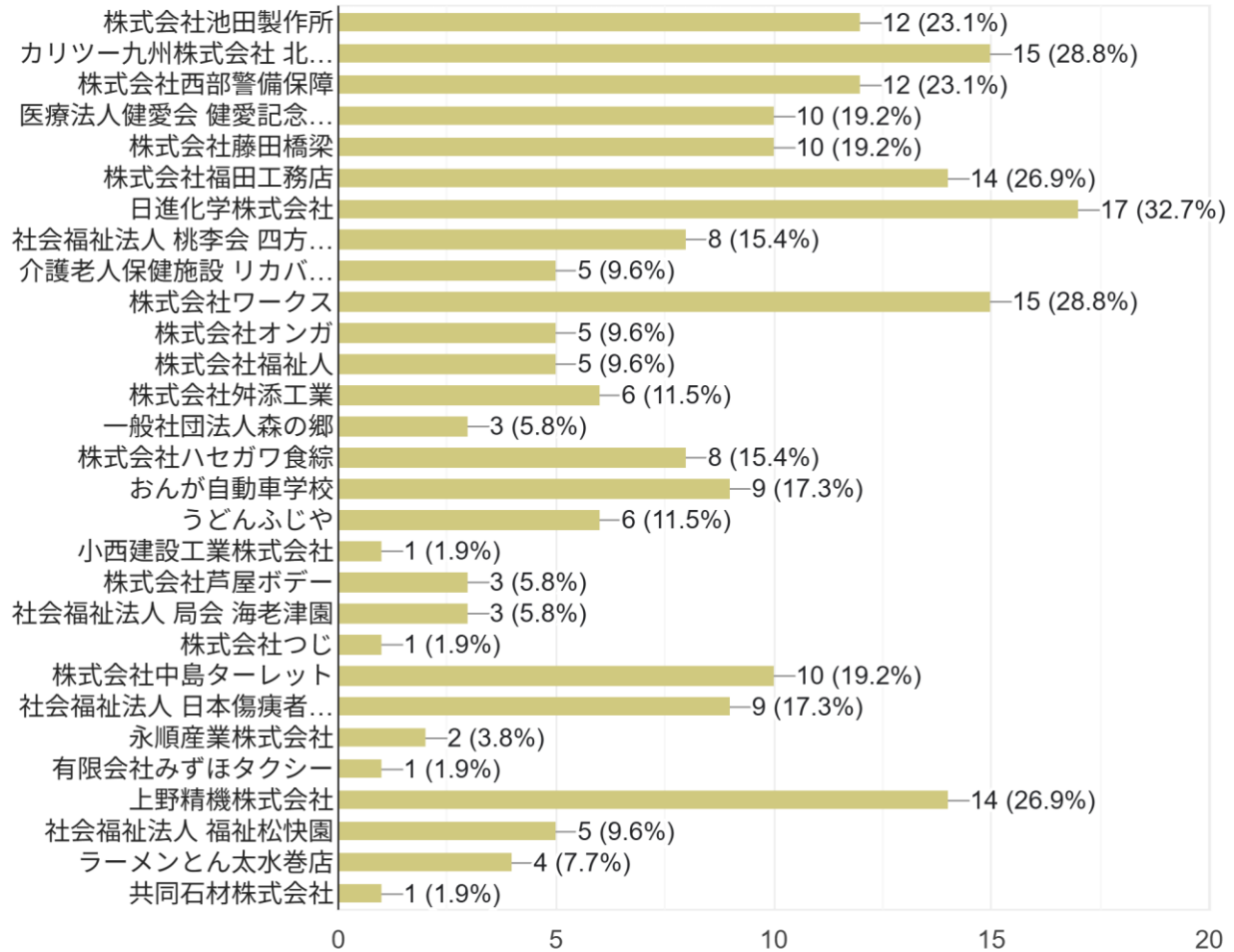


【コメント】130 件の回答（複数回答可）では、「仕事内容」が 95 件（73.1%）で最も多く、「勤務地」76 件（58.5%）が続きました。さらに、休日 60 件（46.2%）、労働時間 58 件（44.6%）、給与 56 件（43.1%）、雰囲気 53 件（40.8%）、福利厚生 44 件（33.8%）と、働き方や職場環境に関する項目も高い割合となっています。企業説明では待遇だけでなく、実際の 1 日の仕事の流れ、配属先、残業・休日、職場の雰囲気まで具体的に示すことが応募意欲の向上につながります。

設問⑩ 話を聞いてみたい・興味がある事業所名を教えてください

10 話を聞いてみたい・興味がある事業所名を教えてください。

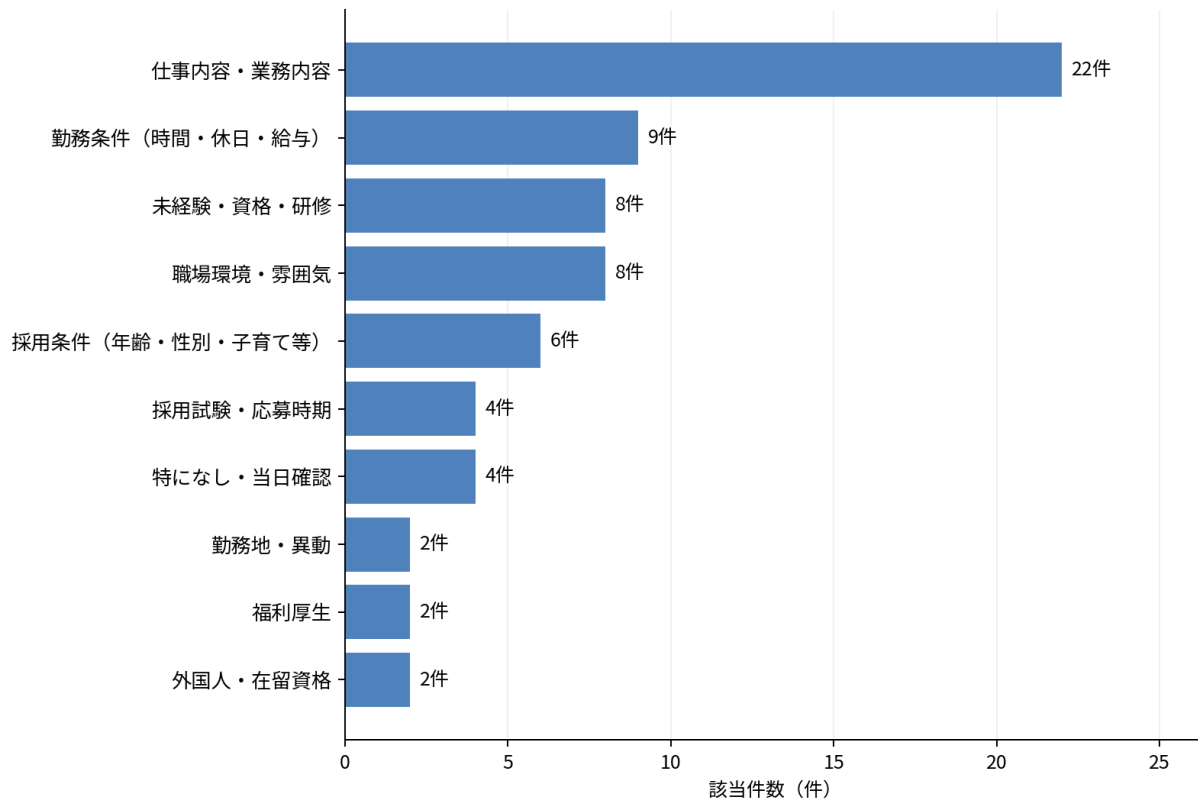
52 件の回答



【コメント】52 件の回答（複数回答）では、日進化学株式会社が 17 件（32.7%）で最も多く、カリツー九州株式会社と株式会社ワークスが各 15 件（28.8%）、株式会社福田工務店と上野精機株式会社が各 14 件（26.9%）、株式会社池田製作所・株式会社西部警備保障が各 12 件（23.1%）となりました。特定の 1 社だけに集中せず、製造、物流・サービス、建設、福祉等の複数業種に関心が分散しています。参加者の希望職種に応じて企業を見つけやすい会場レイアウトや、業種・職種別の案内表示が有効と考えられます。

設問⑪ 興味がある事業所から聞きたいことを教えてください

設問11 事業所から聞きたいこと（自由記述のテーマ整理）



※ファイル上で確認できた自由記述48件を内容別に整理。1回答を複数テーマに計上しています。

【コメント】 自由記述では「仕事内容・業務内容」が22件で最も多く、具体的な作業内容、入社後に最初に担当する仕事、パートの業務等を知りたいという声が目立ちました。次いで、勤務時間・休日・給与が9件、未経験・資格・研修と職場環境・雰囲気が各8件、年齢・性別・子育て等の採用条件が6件でした。設問⑨でも「仕事内容」が最重要項目であったことと一致しており、企業ブースでは抽象的な会社紹介よりも「誰が・どこで・何を・どのように働くか」を具体化した説明が求められています。特にシニア、未経験者、子育て世代、留学生など多様な参加者に対し、応募可能な条件を明確に伝えることが重要です。なお、テーマ分類はファイル上で確認できた自由記述48件を対象とし、1回答を複数テーマに計上しています。

3. 総評

今回の参加者アンケートでは、社会人が 58.3%と中心を占める一方、学生、無職・求職中、主婦、職業訓練受講者、定年後の方など幅広い層が参加しました。年齢では 50 歳以上が 53.1%を占めており、若年者向けの就職イベントに限定されず、転職・再就職・シニア就業を含む地域の総合的な採用接点として機能していることが特徴です。今後も年齢や就業経験を問わず参加しやすい案内と、企業側の採用対象を明確にした情報提供が重要です。

希望職種では製造業 46.7%、サービス業 45.8%が突出しており、遠賀地域周辺の企業への関心と一定程度合致していると考えられます。一方、事務、介護、IT、運送、医療関連などの希望も見られるため、参加企業の業種・職種に幅を持たせることが、来場者の満足度とマッチング機会の向上につながります。

就職先選びで最も重視されているのは仕事内容 73.1%で、勤務地 58.5%が続きました。さらに休日、労働時間、給与、職場の雰囲気はいずれも 40%を超えています。自由記述でも仕事内容、未経験可否、勤務条件、職場環境への質問が多く、来場者は単に求人の有無を知るだけでなく、「自分が実際に働けるか」「働き続けられるか」を判断できる具体的な情報を求めています。企業には、仕事内容の写真・動画、1 日のスケジュール、未経験者の教育方法、年齢層、休日・残業等を分かりやすく提示してもらうことが有効です。

広報面では、チラシとハローワーク関連の周知が主要な来場経路となっており、紙媒体と関係機関との連携が現時点で非常に有効です。一方、SNS 経由は極めて少なく、特に若年層や潜在的転職希望者への接点としては改善の余地があります。紙媒体・ハローワークという強い導線を維持しつつ、SNS では開催告知だけでなく「参加企業の仕事紹介」「未経験でも応募できる求人」「働く人の声」など、参加のメリットが伝わる内容へ転換することが望まれます。

居住地は開催 3 町が 37.5%である一方、八幡西区・若松区など北九州市方面からの参加も多く、広域的な集客力が確認できます。交通手段は車が 81.3%であるため駐車環境は引き続き重要ですが、公共交通利用者へのアクセス情報も充実させることで、学生や車を持たない求職者の参加障壁を下げるができます。

総合すると、本説明会は「地域企業を知る場」として一定の役割を果たしており、今後の成果向上には、参加企業数を増やすことだけでなく、来場者が自分に合う企業を短時間で見つけ、具体的な仕事内容と応募条件を確認し、次の応募・見学・面接へ移れる仕組みを強化することが重要です。参加者アンケートで表れたニーズを企業側へ共有し、各ブースの説明内容を標準化・充実させることで、採用につながる合同会社説明会へさらに発展させることが期待できます。

今後に向けた改善ポイント

- 企業ブースの説明項目を「具体的な仕事内容」「1 日の流れ」「勤務地」「勤務時間・休日・残業」「給与・福利厚生」「未経験者の教育」「採用年齢・応募条件」等で共通化し、参加者が比較しやすくする。
- ミドル・シニア層の参加が多いことを企業へ事前共有し、年齢不問・シニア活躍・パート勤務等の求人を分かりやすく表示する。
- 製造業・サービス業を中心に据えつつ、事務、福祉、運送、IT 等の求人企業も確保し、希望職種の幅に対応する。
- 会場内を業種・職種別に分かりやすく表示し、「未経験可」「パート可」「シニア可」「外国人材可」等の条件をアイコン等で見える化する。
- チラシ・ハローワークとの連携を継続するとともに、SNS では企業紹介動画や仕事内容、働く人の声など、来場理由につながる情報発信を強化する。
- 説明会後の企業見学・応募・面接につながる導線を用意し、興味を持った参加者をその場で次の行動へつなげられる仕組みを検討する。
- 車来場者向けの駐車場案内を明確にしつつ、公共交通利用者には駅・バス停からの経路や所要時間を事前周知する。

【集計上の留意点】 設問ごとに回答数が異なります。また、複数回答可の設問では割合の合計が 100%を超えます。設問⑤の居住地は選択肢が多数あるためコメントでは主要地域を中心に整理しています。設問⑪のテーマ分類は、ファイル上で確認できた自由記述を内容別に整理したものです。